

# 赤道小 令和3年度保護者アンケート集計

◎あてはまる ○大体あてはまる △あまりあてはまらない ×あてはまらない

	評価	◎	○	△	×
1 学校環境(校舎・運動場・中庭等)は、よく整備され安心である。		61.1%	33.9%	5.0%	0.0%
2 学校は、いじめの未然防止等、命を大切にする人権教育を行っている。		31.6%	58.2%	9.6%	0.6%
3 学校は、文書やじんじんメールで情報提供を積極的に行っている。		54.4%	37.2%	8.3%	0.0%
4 学校は「開かれた学校づくり(授業参観や学校行事)」に努めている。		45.5%	44.9%	9.0%	0.6%
5 先生は、わかりやすい授業を行い「確かな学力」を保障している。		38.4%	55.4%	4.5%	1.7%
6 先生は、お子様を公平に評価している。		44.6%	48.6%	5.1%	1.7%
7 先生は、問題行動について適切に指導している。		40.4%	50.0%	7.9%	1.7%
8 先生は、学校生活の様子を学級便り等で保護者へ発信している。		43.5%	41.8%	13.6%	1.1%
9 教室は、整理整頓がなされる等学ぶ場にふさわしい環境になっている。		53.1%	44.0%	2.9%	0.0%
10 お子様は、学校生活が楽しいと言っている。		53.0%	33.7%	10.5%	2.8%

	評価	◎	○	△	×
11	お子様は「おはようございます」等のあいさつができる。	49.2%	38.1%	11.0%	1.7%
12	お子様は、言葉遣いが丁寧である。	17.7%	56.4%	23.8%	2.2%
13	お子様の、友達との関係は良好である。	45.3%	47.0%	7.2%	0.6%
14	お子様は、将来の夢や希望をもっている。	41.7%	42.8%	12.2%	3.3%
15	学校からのお便りは、確実に読んでいる。	58.6%	37.6%	3.3%	0.6%
16	お子様の様子について、学級担任等と情報連携を行っている。	29.2%	51.1%	17.4%	2.2%
17	授業参観に、積極的に参加している。	64.4%	27.2%	6.7%	1.7%
18	学校行事(運動会、学習発表会等)に、積極的に参加している。	72.9%	26.5%	0.0%	0.6%
19	お子様に「遅刻はしない」等、時間の大切さを教えている。	71.1%	26.1%	1.7%	1.1%
20	うるま市の共通実践項目である「挨拶・返事・後始末」を知っている。	35.0%	37.3%	19.8%	7.9%

## 【考察及び対応策】

※（ ）内の数値は、「◎あてはまる」と「○大体あてはまる」を合わせて肯定的意見として前年度と比較。その上で、特徴的なものを取り上げて考察を行う。

質問1 学校環境（校舎・運動場・中庭等）は、よく整備され安心である。

（◎○合計 95%、前年度比+14.0%）

→ 校舎及び運動場が整備されたことで、肯定的な回答が増えたと思われる。今後、植栽等の充実も図っていく。

質問2 学校は、いじめの未然防止等、命を大切にする人権教育を行っている。

（◎○合計 89.8%、前年度比+8.8%）

→ 担任による教育相談、毎月実施している「いじめアンケート」等の取り組みを理解していただいた結果と考える。

質問3 学校は、文書やじんじんメールで情報提供を積極的に行っている。

（◎○合計 91.6%、前年度比+15.6%）

→ 今後も、文書、じんじんメール、学校ホームページ等により情報提供を行っていきたい。

質問4 学校は「開かれた学校づくり(授業参観や学校行事)」に努めている。

（◎○合計 90.4%、前年度比+27.4%）

→ 運動場整備に伴う3年ぶりの本校運動場での運動会の開催、新型コロナウイルス感染状況を考慮しながらの授業参観開催等への評価と考える。今後も開かれた学校づくりに努めたい。

質問5 先生は、わかりやすい授業を行い「確かな学力」を保障している。

（◎○合計 93.8%、前年度比+8.8%）

→ 校内外の研修を通して、継続した「授業改善」に取り組んでいる。また、一人一台のパソコン整備を受けて、ICTを活用した授業及びコロナ禍におけるオンライン授業の実施に取り組んでいるところである。

質問10 お子様は、学校生活が楽しいと言っている。

（◎○合計 86.7%、前年度比-2.3%）

→ 新型コロナウイルス感染予防対策として、学校行事の中止、体育や音楽等の授業における活動の制約、給食時の黙食等、児童にとってコロナ禍以前に比べ制約が多い学校生活となっていることが原因の一つと考える。より充実した学校生活となるよう行事運営等の工夫に努める。

質問12 お子様は、言葉遣いが丁寧である。

（◎○合計 74.1%、前年度比+7.1%）

→ 本校では「ふわふわ（やさしい）言葉」を推奨しているところである。今後も全教育活動を通して教師が手本となる等、場にふさわしい丁寧な言葉遣いができる児童の育成に努めたい。

質問15 学校からのお便りは、確実に読んでいる。

（◎○合計 96.2%、前年度比+7.2%）

→ 新型コロナウイルス感染拡大予防に関するお便り等が多いなか、保護者の皆様が確実に読んでくださることがとても有難い。

質問16 お子様の様子について、学級担任等と情報連携を行っている。

(◎○合計 80.3%、前年度比+8.3%)

→ 今後も学年・学級通信等による情報発信や必要に応じた家庭訪問等により、学級と家庭の連携を充実させていきたい。

質問20 うるま市の共通実践項目である「挨拶・返事・後始末」を知っている。

(◎○合計 18.3%、前年度比+18.3%)

→ 授業参観時における「のぼり」や校舎内の掲示等により、保護者への浸透が図られたと考える。今後もさらなる周知を図っていきたい。